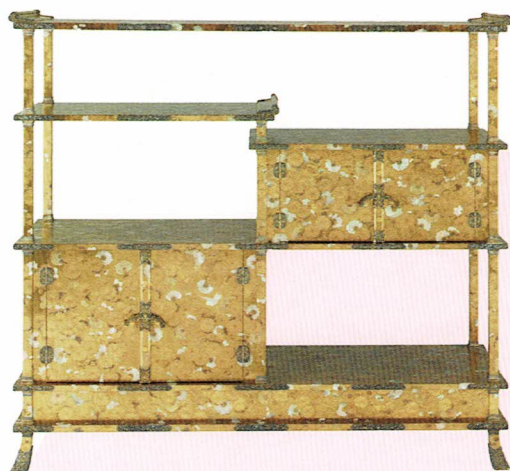


聖武天皇御遺愛の 正倉院宝物、初の皇居内展観

前期展示

令和8年(2026)11月3日(火・祝)～23日(月・祝)

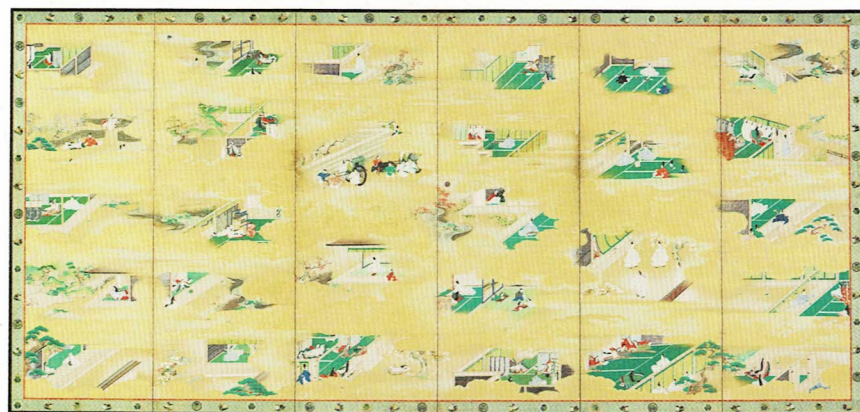
正倉院宝物が初めて皇居内で展観されるほか、
狩野探幽、伊藤若冲らの華やかな江戸絵画の優品、
近世以前より宮中に伝来した由緒ある「御在来」の工芸品、
明治期に任命された帝室技芸員が制作した
近代美術の名品をご覧くださいことができます。



重要文化財 図案:六角紫水 蒔絵:川之邊一朝 金具彫刻:海野勝珉
菊蒔絵螺鈿書棚
明治36年(1903) 皇居三の丸尚蔵館収蔵



つたのはそみまさ え ぶんたい すずりばこ こ ぞいらい
葛細道蒔絵文台・硯箱(御在来)
安土桃山時代(16世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵



「画壇の家康」、
優雅なる源氏絵の世界

狩野探幽
げん じものむねなりずびょうぶ
源氏物語図屏風
江戸時代、寛永19年(1642)
皇居三の丸尚蔵館収蔵



はちかうきょう
八角鏡 平螺鈿青
中国・唐時代(8世紀)
正倉院 北倉四二一七



螺鈿紫檀琵琶
らでんしんぼ
中国・唐時代または奈良時代(8世紀)
正倉院 北倉二七

背面



伊藤若冲 旭日鳳凰図
いとうわくしゅう けつにほうおうず
江戸時代 宝暦5年(1755) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

伊藤若冲が
艶めかしく描いた
生命の本質

時空を超えた
工芸の名品、
今ここに